

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスアニマートしんじょう		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちが、安心感を持って通所してくれている。	・職員が、笑顔で楽しい雰囲気を作っている。 ・職員に対して、子どもたちが様々なことを話してくれたり一緒に過ごす中で笑顔が多く見られる。職員も楽しさを共有し、笑いが絶えない環境になっている。	・スタッフ間のコミュニケーションを大切に、より良い支援へとつなげていく。 ・ミーティング等で、情報共有をして、子どもたちのことをしっかり把握する。
2	・生活空間は、子どもたちにわかりやすい環境になっている。	・スペースを確保し、活動しやすい場になっている。静と動がぶつかることがないように、環境設定に配慮している。	・集団生活に結びつけられるような活動を設定し、楽しく過ごせるようにしている。
3	・学校と密な連携が取れている。利用日の日中の姿をしっかりと引き継ぎ、放課後の支援に生かしている。	・担任の先生との引き継ぎをしっかりと行ってくる。また、事業所での様子を伝える機会も設けている。	・聞いてきた情報は、職員でしっかりと共有する。 ・大事な情報は、ホワイトボードを活用し、聞き漏らしのないようにチャックをしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方への対応	・連絡帳でのやり取りで、言葉足らずのところがあり、保護者の方に対して、心苦しい思いをさせてしまった。 (内容を伝えきれていなかった、情景がわからない文章だった、保護者の方に対しての思いやりに欠けた文章になってしまった)	・職員全員が、連絡帳を見て内容を把握する。 ・職員によるダブルチェック、連絡帳に書ききれなかった所は、電話等での補足をしっかりと行っていく。
2	・相談しやすい環境	・保護者の方からのお子さんに関する相談はもちろん(その他要望なども含む)職員間でも、報告・連絡・相談を密に行い、話しやすい環境を意識していく。	・伝えやすい、話しやすい環境を心がけ、これまで以上の支援や対応をより丁寧に行っていく。
3	・職員の専門性の向上	・職員一人一人の学ぼうとする姿勢、療育内容の質の向上に欠けている。	・職員の専門性を高めるために研修会に参加する。子どもたちとの関わり方、過剰な声掛け、手助けをせず、「自分でできた！」を増やし自信へとつなげていけるようにする。